

令和4年度
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文
(建築学プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で1ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。) 問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

次の問題に対し、600字以内で解答せよ。

建築物を建てるには、資材を生産し、工事を実施する必要がある。建築物の完成後には、利用、維持管理、改修が行われ、最終的に建築物は解体される。これらの一連の過程で、環境には負荷が生じる。近年、様々な分野で、環境への配慮が叫ばれているが、無論、建築分野も例外ではない。そこで、環境負荷の低減に対して、建築学が貢献可能な事柄について、あなたの意見を述べなさい。

解答にあたっては、解答用紙の1マスを1字に使い、句読点、カッコなどはいずれも1字として扱うこと。ただし、算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。

令和4年度総合型選抜 小論文

工学部工学科建築学プログラム

[出題意図]

建築は我々の生活および社会に密接に関連している。然るに、現在の社会情勢を理解し、問題提起を行い、その解決方を提示する姿勢を有することは、建築学を学ぶ上で重要である。本問題は、環境への配慮といった、現在、我々が直面している問題に対して、建築学の視点から、貢献可能な事柄を論理的に解答できるかを問うものである。